

6・7月のセミナー

東京 5月29日(水) 15:30~17:00 **会員限り 要申込**

*会場：日経東京本社ビル6階・カンファレンスルーム

*開催時間を変更しました

日経センター短期経済予測説明会

予測期間：2019年4-6月期～2021年1-3月期

西岡 慎一・日本経済研究センター短期経済予測主査

東京 6月6日(木) 14:00~15:30

*会場：日経東京本社ビル6階・セミナールーム2

<シリーズ データサイエンスの潮流>第2回

因果もわかる機械学習 —社会への応用を中心に

AIのための機械学習、特に深層学習が脚光を浴びています。因果関係が不明な点が機械学習や深層学習の限界だといわれてきましたが、「因果もわかる機械学習」が生まれつつあります。活用分野は、広告やニュースの配信といったビジネスへの応用や、囲碁や将棋のようなゲームへの応用まで、多岐に渡ります。成田助教授に、機械学習の基本と実装例について解説していただきます。

成田 悠輔・エール大学経済学部助教授

2016年マサチューセッツ工科大学経済学博士号取得。17年から現職。市場や社会の制度設計と、社会制度から出てきたデータを用いて因果機械学習を研究

大阪 6月10日(日) 14:00~15:30

*会場：日経大阪本社ビル1階・カンファレンスルーム

《日経センター「中国研究」報告》

新時代の中国ビジネス —激動期をいかに勝ち抜くか

日本経済研究センターは2018年度の中国研究プロジェクトの成果として、「新時代の中国ビジネス～激動期をいかに勝ち抜くか」というタイトルの報告書をまとめました。中国ビジネスの今後のポイントなどを研究したものです。セミナーではプロジェクトに参加した雷氏とともに、中国企業との差別化や話題となっている「中国製造2025と米中関係」などについて、報告します。

雷 海濤・桜美林大学教授

1984年中国・浙江大学卒。92年東京大学工学博士。東芝中国室長(92～2018年)を経て、18年から現職

湯浅 健司・日本経済研究センター首席研究員

東京 6月12日(水) 13:30~15:00

*会場：日経東京本社ビル6階・セミナールーム2

株価座談会

世界景気と日本株 —2019年下期の相場展望

世界経済の減速懸念、米中摩擦、米欧の金融政策の行方——。世界の金融市場を取り巻く不透明要因が増えています。2019年の日本株はこうしたハードルを乗り越えて、上昇を続けることができるのでしょうか。国内外の経済・金融情勢を熟知し、日本株の運用経験も豊富な専門家のお二人に議論していただき、2019年下期の株式相場を展望します。

青木 大樹・UBSウェルス・マネジメント

日本地域最高投資責任者兼チーフエコノミスト

2002年中央大学総合政策学部卒、05年米ブラウン大学大学院経済学修士。01～10年内閣府で政策企画や経済調査を担当。10年UBS証券にエコノミストとして入社。16年11月から現職

藤井 智朗・ニッセイアセットマネジメントCo-CIO

(共同チーフインベストメントオフィサー)

1993年一橋大学経済学部卒、日本生命保険入社。日本経済研究センター、日本生命の米国投資法人などを経て、2017年3月から現職。日本サステナブル投資フォーラム理事

司会) 田中 直巳・日本経済新聞社証券部長

東京 6月14日(金) 14:00~15:30

*会場：日経東京本社ビル6階・セミナールーム2

米中摩擦と日本

貿易、ハイテク、安全保障などをめぐる米国と中国の摩擦が世界を揺るがしています。米中関係は今後、どう展開するのか。それに対して日本はどう向き合えばよいのか。6月末に大阪で開催される20カ国・地域(G20)首脳会議でも米中の動向と議長国である日本の役割が焦点になります。世界経済の諸懸案が話し合われるサミットを前に、米中関係に詳しい各分野の専門家が討論します。

宮本 雄二・宮本アジア研究所代表(元駐中国大使)

1969年外務省入省。軍縮課長、中国課長、アトランタ総領事、軍備管理・科学審議官、駐ミャンマー特命全権大使、沖縄担当大使を歴任後中国特命全権大使を経て、2011年より現職

中林 美恵子・早稲田大学社会科学部教授

大阪大学博士(国際公共政策)、米国ワシントン州立大学修士(政治学)。1993年米国議会上院予算委員会補佐官、2002年(独)RIETI研究員、09年衆議院議員などを経て、現職

柯 隆・東京財団政策研究所主席研究員

中国南京市生まれ、1988年留学のため来日。名古屋大学大学院修士(経済学)、長銀総合研究所研究員、富士通総研主席研究員を経て、2018年4月より現職

司会) 伊集院 敦・日本経済研究センター首席研究員

東京 6月17日(日) 14:30~16:30

*会場：日経東京本社ビル6階・カンファレンスルーム

データ資本主義 チャンスと試練 —日本企業は生き抜けるか

データが有形の資産や労働に代わり富を生む時代が訪れようとしています。産業構造や事業モデルが劇的に変化する可能性が十分あります。当センターの長期経済予測の一環として、データが軸になる経済の将来像を提示し、日本企業がチャンスをつかみ生き抜くためには何が必要なのか、どのようなデータの共有・利用ルールが必要なのか、経済界代表、政策のキーパーソンを招いて議論します。

パネル討論

鈴木 茂樹・総務省総務審議官
岩田 一政・日本経済研究センター理事長 ほか
日経センター報告 猿山 純夫・日本経済研究センター首席研究員
田原 健吾・日本経済研究センター主任研究員

東京 6月19日(火) 14:00~15:30

*会場：日経東京本社ビル6階・セミナールーム2

ユーロ・リスクを読む —負の連鎖は避けられるか

ユーロ圏経済の減速傾向が鮮明になり、世界経済への影響が懸念されています。欧州最強だったドイツの変調、イタリアの財政赤字問題など、不安材料が相次ぐなか、先行きをどう見るべきでしょうか。導入から今年で20年を迎えたユーロが直面する構造的な課題や、ブレグジットにどう備えるべきかといった点も含め、欧州の経済リスクを読み解いていただきます。

吉田 健一郎・みずほ総合研究所上席主任エコノミスト

1996年一橋大学商学部卒、富士銀行（現みずほ銀行）入行。対顧客為替ディーラーを経て、2004年みずほ総合研究所に転出。08年ロンドン駐在、14年から現職。ロンドン大学修士（経済学）聞き手）刀裨館 久雄・日本経済研究センター研究主幹

東京 6月20日(水) 14:00~15:30

*会場：日経東京本社ビル6階・セミナールーム2

第5回円城寺次郎記念賞受賞 社会問題を解決するマーケットデザイン

公立学校の選択、研修医の配置、災害時の仮設住宅の割り当てなど、社会的倫理的理由から価格を付けるのが望ましくない財やサービスの配分を考える「マッチング理論」。それをを用いて制度や市場をどう整備するかを考える「マーケットデザイン」は様々な分野への応用が期待され、すでに諸外国では多大な成果を上げています。この分野で国際的に研究をリードする小島准教授に、分かりやすく解説していただきます。

小島 武仁・スタンフォード大学経済学部准教授

2003年東京大学卒、08年ハーバード大学経済学Ph.D。スタンフォード大学助教授などを経て、13年から現職。18年に、第5回円城寺次郎記念賞、第15回日本学士院学術奨励賞を受賞

大阪 6月21日(金) 14:00~15:30

*会場：日経大阪本社ビル1階・カンファレンスルーム

観光振興と地域創生 —ANAの取り組み

17年10月にANAグループの観光事業戦略を立案する中心組織として観光アクション部が発足。社内外のハブ機能と共に、日本政府観光局などとの連携で英国旅行業協会の年次会議を今年10月アジア初となる東京で開催する誘致に成功、自治体とも地域創生で協業している。事業で見えてきた新たなインバウンド需要開拓の可能性や、持続的な観光振興・地域創生につなげる鍵・課題を聞きます。

藤崎 良一・ANA マーケティング室 観光アクション部長

1988年にANA入社。営業、空港、広報、海外支店（ベトナム）での勤務を経て、2017年10月に観光アクション部設立に伴い現職

大阪 7月2日(火) 14:00~15:30

*会場：日経大阪本社ビル1階・カンファレンスルーム

大阪G20サミット後の世界経済

国際経済で存在感を高める新興国と先進国の指導者が一堂に会する20カ国・地域（G20）首脳会議が6月末に大阪で開かれます。自由貿易の推進を通じた世界経済の成長や地球規模課題への取り組み、デジタル経済への制度面の対応などで国際的な協調体制を築けるのか。外交実務経験も豊富な渡邊教授に会議の結果を分析するとともに、サミット後の世界経済を展望していただきます。

渡邊 頼純・関西国際大学 国際コミュニケーション学部長・教授

1976年上智大学文学部卒。同大博士課程単位取得退学。GATT、EU、外務省大臣官房参事官兼経済局、参与を経て2005年慶応義塾大学教授、19年4月から現職。慶応義塾大学名誉教授

東京 7月11日(水) 14:00~15:30

*会場：日経東京本社ビル6階・セミナールーム2

米中のサイバー空間の覇権争いと日本

国家が関与するサイバー犯罪、サイバースパイ活動、サイバー攻撃が増えてきており、新たな地政学、地経学、地技学上の課題になっています。技術は国力に大きく関係し、サイバーセキュリティはその根幹を揺るがす問題です。米中間で技術覇権をめぐる争いが起こる一方、日本は東京五輪などメガイベントへのサイバー対応を迫られている現状と今後について、解説していただきます。

土屋 大洋・慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、
日本経済新聞社客員論説委員

1999年慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了、博士（政策・メディア）。2005年同大助教授などを経て、11年から現職。著書に『サイバーセキュリティと国際政治』など

大阪 7月22日(日) 14:00~15:30

*会場：日経大阪本社ビル1階・カンファレンスルーム

英離脱と欧州連合の行方 —現地取材から読み解く

英国の欧州連合（EU）からの離脱（ブレグジット）は10月末まで先延ばしになりました。しかし英国では政局の混乱が続いており、英国がEUと何の取り決めも結ばずに離脱する「合意なき離脱」のリスクは消えていません。3月末までEUが本部を置くブリュッセルに駐在し、現地取材してきた国際部の森本学次長に、今後のブレグジットやEUの行方を聞きます。

森本 学・日本経済新聞社編集局国際部次長(前ブリュッセル支局長)

1999年慶応義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了、日本経済新聞社入社。経済部、政治部などを経て2015年からブリュッセル支局長。19年4月から現職

東京 7月23日(火) 14:00~15:30

*会場：日経東京本社ビル6階・セミナールーム2

内外経済・金融情勢と政策対応の展望

木内 登英・野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミスト

東京 7月30日(火) 14:00~15:30(予定)

*会員無料、一般1500円(税込)

*会場：日経東京本社ビル6階・セミナールーム2

令和元年版 経済財政白書説明会

今年度の白書のポイントを担当者にご説明いただきます。
*白書の公表日程により変更の可能性があります。

茨木 秀行・内閣府参事官(経済財政分析—総括担当)

1988年東京大学経済学部卒。90年経済企画庁(現内閣府)入庁。96年ロンドン大学(LSE)経済学修士。大臣秘書官、経済協力開発機構日本政府代表部参事官などを経て、2016年から現職

2019年度 参加者募集 経済動向研究会

直近のマクロ経済動向・金融情勢を解説するセミナー「経済動向研究会」の参加者を募集しています。2019年度は下記の2グループを各々2カ月に1回、年間6回開催します(メンバーシップ制)。皆様のご参加をお待ちしております。

◆茨木グループ 講師：茨木 秀行・内閣府参事官(経済財政分析—総括担当)

政府のまとめた「月例経済報告」を中心に最新の景気動向の解説、主要な経済問題の分析・評価を行います。

■開催日：第2回 6月27日(木) 原則、偶数月に開催予定。
開催日は約1カ月前にメールでお知らせします。

■開催時間：12:15-13:30

【いばらぎ ひでゆき】1988年東京大学経済学部卒。90年経済企画庁(現内閣府)入庁。96年ロンドン大学(LSE)経済学修士。大臣秘書官、経済協力開発機構日本政府代表部参事官などを経て、2016年6月から現職

◆一上グループ 講師：一上 響・日本銀行調査統計局経済調査課長

経済や物価の現状および当面の展望について、金融情勢も含めて解説します。年4回公表される「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」の解説も行います。

■開催日：第2回 8月2日(金) 原則、奇数月に開催予定。ただし展望レポート公表月は公表後に開催。
開催日は約1カ月前にメールでお知らせします。

■開催時間：12:15-13:30

【いちうえ ひびき】1997年東京大学大学院工学系研究科修了、日本銀行入行。2005年カリフォルニア大学サンディエゴ校経済学部博士課程修了(Ph.D.)。国際通貨基金(出向)、日本銀行企画局、調査統計局経済統計課長などを経て、17年6月から現職

●会場：日本経済新聞東京本社ビル6階 セミナールーム2(東京都千代田区大手町1-3-7)

●受講料：1グループ 16,200円(税込) 第2回目から年間5回分、会員・非会員とも
※19年度から昼食はございません。
※法人会員2口以上の会員様は、2グループ合わせて2名様まで無料です。

●お申し込み方法：ウェブサイト(<https://www.jcer.or.jp/>)「セミナー」ページからお申し込みください。

●お問い合わせ先：会員事業部 TEL:03-6256-7720

2019年6・7月のセミナー

TOKYO

* ■ ■ は会員限定セミナーです。

月	日	曜日	開催時間	セミナー名	
5	29	水	15:30~17:00 (時間変更)	日経センター短期経済予測説明会	西岡慎一
6	6	木	14:00~15:30	<シリーズ データサイエンスの潮流>第2回 因果もわかる機械学習—社会への応用を中心に	成田悠輔 氏
	12	水	13:30~15:00	株価座談会 世界景気と日本株—2019年下期の相場展望	青木大樹 氏、藤井智朗 氏、田中直巳 氏
	14	金	14:00~15:30	米中摩擦と日本	宮本雄二 氏、中林美恵子 氏、柯 隆 氏、伊集院 敦
	17	月	14:30~16:30	データ資本主義 チャンスと試練—日本企業は生き抜けるか	鈴木茂樹 氏、岩田一政、猿山純夫、田原健吾
	19	水	14:00~15:30	ユーロ・リスクを読む—負の連鎖は避けられるか	吉田健一郎 氏、刀祢館久雄
	20	木	14:00~15:30	第5回円城寺次郎記念賞受賞 社会問題を解決するマーケットデザイン	小島武仁 氏
7	11	木	14:00~15:30	米中のサイバー空間の覇権争いと日本	土屋大洋 氏
	23	火	14:00~15:30	内外経済・金融情勢と政策対応の展望	木内登英 氏
	30	火	14:00~15:30 (予定)	令和元年版 経済財政白書説明会	茨木秀行 氏

OSAKA

月	日	曜日	開催時間	セミナー名	
6	10	月	14:00~15:30	<<日経センター「中国研究」報告>> 新時代の中国ビジネス—激動期をいかに勝ち抜くか	雷 海涛 氏、湯浅健司
	21	金	14:00~15:30	観光振興と地域創生—ANAの取り組み	藤崎良一 氏
7	2	火	14:00~15:30	大阪G20サミット後の世界経済	渡邊頼純 氏
	22	月	14:00~15:30	英離脱と欧州連合の行方—現地取材から読み解く	森本 学 氏

参加ご希望の皆様へ

<https://www.jcer.or.jp/>

トップページ上部メニューの「セミナー」からアクセスしてください



会場の席数に限りがございますので、ウェブサイト (<https://www.jcer.or.jp/>) から事前にお申し込みください。セミナーの追加や日時変更の場合もありますので、ウェブサイトでご確認ください。

■会費 会員無料、一般は1回8,000円(税込) ■入場 先着順(セミナー開始の30分前より受付を始めます)

■会場 東京：日本経済新聞社東京本社(東京都千代田区大手町1-3-7)
大阪：日本経済新聞社大阪本社1階・カンファレンスルーム(大阪市中央区高麗橋1-4-2)

セミナーに関するお問い合わせは 東京 TEL：03-6256-7720 大阪 TEL：06-7639-6660